

2014年4月号



Osaka Referee 強化育成通信

発行
 (一社)大阪府サッカー協会審判委員会
 強化育成部長 大原克則
 強化育成通信担当 神谷達平
 お問合せ 大阪府サッカー協会審判担当
 ofa-shimpan_jimu@peach.ocn.ne.jp

「伸ばす」から「伸びる」へ (一社)大阪府サッカー協会 インストラクター部長 平井裕雄

「君は喋り過ぎだ。答えは審判員の中にある」。ある先輩からご指導いただいた言葉です。審判インストラクターの指導法も時代とともに変化しています。以前は、「指導してやる!」「私が彼を伸ばしてみせる!」というスタンスで、試合後は長時間かつ一方的なミニ講義をしていました。これはこれで必要なことですが、最近はその審判員のストロングポイントを活かし、課題を克服できるような働き掛けを行うことが、私たちインストラクターの大きな役割になっています。

「伸ばす」ではなく、審判員が自らの意思と力で「伸びる」。主語は審判員自身です。私たち審判インストラクターは、審判員の「技術」と「やる気」の両方がアップするような指導を心掛け、審判員を全力で指導、応援していきます。頑張りましょう。

次回発行 7月予定



●全体(開幕前)研修会(3/9開催)

審判員・インストラクター合同で、新シーズン開幕前の合同研修会を実施しました!主審を担当した勝部氏と研修審判員として参加した正木氏の感想です。

私は「競技者のために」という考えを持って試合に臨んでいます。しかし、今回の試合で私は研修の対象試合ということで緊張していました。緊張するということは「競技者のために」と純粋に考えることが出来ていない証拠だと考えています。これは私の反省点です。

試合後にこの試合で一級を勇退される平野伸一氏をはじめとして、多くの審判員仲間に感想や意見を伝えて頂きました。本当に感謝しております。

今後ともインストラクターの方々に指導して頂き、審判員仲間と協力し、良いシーズンを過ごしたいと考えております。

ありがとうございました。

(2級 勝部健氏)

主審の勝部氏(左から2番目)

その右に平野氏



シーズン開幕前に大阪のアクティブ審判員が一斉に集まったことに感謝しております。年間を通じて貴重な機会だったのではないのでしょうか。

当日は試合を担当された審判員の皆様は本当にお疲れ様でした。決勝というなかなか経験できない舞台を羨ましくも思いました。

また講義では主審に必要な資質というテーマをいただきグループディスカッションで様々な意見を聞いたことで審判活動は当然の事ながら日常生活の大切さを再認識しました。

この経験を糧にすでに開幕している2014シーズンも乗り切っていきましょう。ありがとうございました。



観戦研修中の正木氏

(2級 正木貴光氏)

●フォローアップ研修会(2/16開催) (2級 道山悟至氏)

この度、2月16日に2013年度に2級に昇級した審判員のフォローアップ研修が行われました。

最初に、これまで3級審判員としてどういう風に試合に取り組んでいたか、そして2級審判員としてこれからどういう審判になりたいかをお互いに発表しました。そこで講師の三宅氏のご講義のなかで「変化を意識しなければならない」という言葉がありました。3級から2級になったから上手くなったのではなく、3級で培った力をベースに競技規則に記載されている審判員の目標や重点項目に沿って日頃からサッカーに取り組まなければならないということを経験して常目標をもたないと成長できないと感じました。

また、午後からは社会人選手権の主審も担当させて頂き、試合後には数多くのインストラクターの方々に映像を使いながらご指導頂きました。加えて、北村氏と神谷氏の経験談を聞いて、これから挫折や失敗があると思いますが、挫けずに頑張っていこうと思えました。最後になりましたが、有意義な研修会を開催して頂きありがとうございました。

フォローアップ研修会の研修審判員。左端が道山氏。



強化育成部今後の予定

5/22(木)

指導育成勉強会(大阪協会)

6/7(土)、8(日)

ユース審判員研修会(J-GREEN 堺)

6/19(木)

指導育成勉強会(大阪協会)

7/17(木)

指導育成勉強会(大阪協会)